

新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の本格化との両立に向けて

新しい生活様式は
厚生労働省
ホームページで



中小企業の支援は
県ホームページで



県では、感染拡大の防止と社会経済活動の本格化との両立に向け、医療提供体制、検査・調査体制の強化、「新しい生活様式」の周知や中小企業の支援等に取り組みながら、段階的に外出自粛等を緩和し、6月19日にはステップ②(右表)に移行しました。

こうした中、6月下旬には県内初となる集団感染(県内患者8名(6月29日現在))が発生し、県外でも東京都等を中心に継続して感染者が確認されています。

このように、新型コロナウイルスと共存せざるを得ない中で「新しい日常」を構築していくため、感染拡大防止対策の徹底について、引き続き県民、事業者の皆さまのご協力をお願いします。

☎県健康増進課 ☎028-623-3089

協力依頼の内容		ステップ②(6/19~7/9)	ステップ③(7/10~31)
移動・施設の利用		感染防止対策等を徹底した上で移動、利用してください	
観光振興		県外からの誘客も含めて徐々に実施(人の間隔を確保)	
施設の使用		感染拡大防止ガイドラインの徹底など、適切な取組を実施してください	
催物の開催	屋内	1,000人以下(定員の半分以上)	5,000人以下(定員の半分以上)
	屋外	1,000人以下(人の間隔を確保)	5,000人以下(人の間隔を確保)
	参考	全国的な移動を伴うプロスポーツ等は6月19日から無観客開催 全国的な移動を伴う祭り、野外フェス等は感染状況を踏まえて判断	

8月以降は別途決定

●7月10日(金)には、ステップ③への移行を予定しています。詳細は県ホームページ等でお知らせします



「新型コロナウイルス感染防止対策取組宣言」運動

感染防止対策に取り組みながら、社会経済活動の本格展開を図るため、各業界団体や事業者の皆さまと連携し、感染防止対策の「見える化」の取組を県民運動として展開しています。

県内業界団体
●県の呼び掛けに賛同する業界団体が「感染防止対策取組宣言書」を県に提出し、県はホームページでPR、各業界団体は事務所等への掲出・PR、会員等への普及・支援に取り組みます

県内事業者等
●各業界団体の取組宣言等に沿った具体的な感染防止の取組を記入した取組宣言書とステッカーを店舗等に掲出してPRします(右写真)



☎県新型コロナウイルス施設・生活相談センター ☎028-623-2826

詳しくはこちら



栃木県総合文化センター入口

とちぎに泊まって、栃木の観光を守ろう!

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた栃木の観光の回復に向けて、県では、県民の皆さまに「県民一家族一旅行」のご協力をお願いしています。宿泊料金の割引や有料道路の無料化を実施しています。ぜひこの機会に県内を観光し、栃木の魅力を再発見しましょう。

割引対象	栃木県民の県内宿泊
割引額	6千円以上1万円未満の宿泊 1人1泊3,000円 1万円以上の宿泊 1人1泊5,000円
対象期間	10月30日(金)までの宿泊 ※ただし、割引期間は販売方法・会社等により異なります。また、売り切れ等により早期終了する場合があります
申込方法	宿泊予約サイトまたは県内旅行会社
問い合わせ	県民一家族一旅行事務局 ☎028-341-6174 (平日:午前10時~午後5時)

1人2泊まで

詳しくはこちら



有料道路の無料化については、こちらをご確認ください >>

☎県観光交流課 ☎028-623-3305、県交通政策課 ☎028-623-2408



6月補正予算(2) 総額978億円

◎新型コロナウイルス感染症対応予算の累計 1,380億円

新型コロナウイルス感染症に関する国の第2次補正予算に呼応し、以下の取組を2つの柱として、過去最大規模で6月2回目の補正予算を編成しました。その中から一部をご紹介します。

感染の再拡大に備えた取組 352億円

医療提供体制の強化 202億円

- ・救急・周産期・小児医療機関等における院内感染防止対策を支援します
- ・新型コロナウイルス感染症患者専用の病棟等を設定する重点医療機関の病床確保や設備整備を支援します
- ・医療機関対象の緊急経営安定化資金を創設し、資金繰りを支援します



調査・検査体制の強化 5億円

- ・積極的疫学調査を行う「機動調査チーム」の編成や集団感染発生時に医療機関への搬送調整等を支援する「発生施設支援チーム」の派遣を行います
- ・短時間で検査可能な抗原検査キットを救急医療機関等に配備します

感染拡大防止対策 53億円

- ・介護・障害者支援・児童福祉施設等の感染症対策を支援します



医療従事者等への慰労金の支給 92億円

- ・医療従事者や介護・障害者支援施設等の職員に慰労金を支給します

社会経済活動の本格化に向けた取組 626億円

生活に困っている世帯への支援 36億円

- ・低所得のひとり親世帯へ臨時特別給付金の支給を行います
- ・緊急小口資金等の貸付助成など、生活に困っている世帯を支援します

県内事業者への支援 541億円

- ・バスやタクシーなどの地域公共交通事業者等へ支援金の支給を行います
- ・融資枠の拡大など、中小企業への資金繰り支援の充実を図ります

消費喚起・観光需要回復の促進 18億円

- ・県内中小の小売・飲食・サービス業各店で使える「とちぎ応援プレミアムチケット」を発行します
- ・特産品プレゼントキャンペーンや観光レンタカーの利用助成等を行います

県産農産物等の需要回復の促進 6億円

- ・学校給食で県産のアユやヤシオマスを提供します

学びの保障のための環境整備 24億円

- ・私立高等学校等におけるタブレットの導入等を支援します

スポーツ・文化活動への支援 1億円

- ・中学校・高等学校スポーツ代替大会の開催を支援します
- ・県内若手音楽家による無観客コンサートを動画配信します



☎県財政課 ☎028-623-2018

誰かの命を守る 献血にご協力を!

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、輸血用血液の確保に影響が出ています。血液を必要としている患者さんのために、ぜひご協力ください。

Q 新型コロナウイルス感染症による影響って?

在宅勤務の導入やイベントの自粛などにより、献血バスで企業などに出向く移動採血が中止になり、献血の場が減っています。

血液は人工的につくることはできません。また、生きた細胞のため、長い期間保存することもできません。このため、常に安定的な輸血用血液の確保が必要なのです。

感染が拡大する中でも献血にご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます!



Q 献血には種類があるの?誰でもできる?

献血の種類は以下の表のとおりで、年齢や体重によって制限があります。

項目	全血献血		成分献血	
	200ミリリットル	400ミリリットル	血漿成分	血小板成分
年齢*	16~69歳	男性 17~69歳 女性 18~69歳	18~69歳	男性 18~69歳 女性 18~54歳
体重	男性 45キロ以上 女性 40キロ以上	50キロ以上	男性 45キロ以上 女性 40キロ以上	

*65~69歳の方は、60~64歳の間に献血の経験がある方に限られます

献血はここでできます

献血は固定施設と移動採血があります。県内の固定施設は、右の2箇所。移動採血(献血バス)の場所と日時は、栃木県赤十字血液センターのホームページでご確認ください。▶▶ 栃木県 献血バス [検索](#)

● 栃木県赤十字血液センター
所在地:宇都宮市今宮4-6-33
☎0120-940-382

● うつのみや大通り献血ルーム
所在地:宇都宮市大通り2-1-5
明治安田生命ビル1階
☎0120-305-095

感染防止のためにご協力を

◆献血時の密集を避けるため、事前のご予約をお願いします。それぞれの施設へお問い合わせください

◆献血会場ではマスクの着用、手指消毒、体温測定にご協力ください



7月は「愛の血液助け合い運動」月間だっ!ぜひ献血にご協力お願いしますっ!

☎県業務課 ☎028-623-3119